

水産物直接販売力強化対策事業

佐藤 利幸・濱田 豊市

県では、漁業者や漁協等が農産物を主体に販売する直売所(「農産物直売所」という)とタイアップし、より多くの消費者に新鮮・安心・安全な県産水産物を提供する直売活動を支援し、漁業者所得の向上に努めている。

その一環として、県内農産物直売所を対象に水産物に対するアンケート調査を実施し、県産水産物に興味のある農産物直売所の掘り起こしを行う等、直売活動の支援・強化に努めた。ここでは、前述した農産物直売所を対象としたアンケート調査について報告する。

方 法

県農林水産部農山漁村振興課が作成した「ふくおかグリーンツーリズムマップ」に記載された農産物直売所191カ所のうち、水産物を主体に販売する直売所等を除いた183カ所に対し、郵送でアンケート調査を実施した。

結果及び考察

アンケートは農産物直売所183カ所のうち、約半数の92カ所から回答があり、アンケート集計結果を表1に、アンケート調査票を図1に示した。

回答のあった92カ所のうち、既に水産物の取り扱いのある農産物直売所は54カ所(59%)で、残り38カ所(41%)は取り扱いがなかった。取り扱っている水産物としては、干物類(54%)が最も多く、海藻類(47%)、鮮魚類(40%)、塩辛類(37%)、佃煮類(35%)、練製品類(33%)の順で、特に水産加工品の取扱が多かった。仕入先としては、商店(27%)が最も多く、鮮魚商(25%)、県内漁業者(24%)の順であった。

次に、新たに水産物の取り扱いを希望するか否かについては、希望するが25カ所(27%)、希望しないが34カ所(37%)、未回答が33カ所(36%)であった。新たに取り扱いたい水産物としては、鮮魚類(19%)が最も多く、干物類(15%)、海藻類(15%)、塩辛類(14%)の順であった。

一方、県内産の水産物については、回答のあった92カ所のうち、61カ所(66%)が興味を示しており、県内産水産物に対する関心の高さが伺える結果となった。しかしながら、「店舗が手狭」、「冷蔵ショーケース等機材が無い」、あるいは「内規で地元以外からの出品を制限している」等の理由から現実的に対応が困難との回答も多くみられ、その結果、常設で可能が12カ所、イベント的に可能が25カ所に留まった。

以上のことから、農産物直売所の約6割が既に水産物を取り扱っており、県内産の水産物については約7割が興味を示すなど、農産物直売所においても水産物は魅力ある商品の1つであることが伺えた。しかしながら、新たに水産物を販売する場合、冷蔵機材の整備や仕入先の確保等が必要であり、他の商品に比べ販売が困難な商品であることも伺えた。今後は、新たに水産物の販売が可能と回答のあった延べ37カ所について、漁協とのマッチングを開催する等、直販モデルの構築に努め、直売活動を支援したい。

調査対象カ所数	アンケート回答有り	水産物の取り扱い		取り扱っている水産物の種類										水産物の仕入れ先						売れ行き			
		有り	無し	鮮魚	活魚	干物類	煙製類	佃煮類	塩辛類	練製品類	缶詰類	海藻類	その他	県内漁業者	県外漁業者	鮮魚商	商店	仲買人	市場	その他	好評	普通	ひとと
183	92	54	38	37	9	50	8	32	34	30	7	43	4	22	2	23	25	5	4	13	20	26	9

今後の水産物取り扱い計画		取り扱う計画がある水産物の種類										水産物取り扱い希望		今後、取り扱いたい水産物の種類									
有り	無し	鮮魚	活魚	干物類	煙製類	佃煮類	塩辛類	練製品類	缶詰類	海藻類	その他	望む	望まない	鮮魚	活魚	干物類	煙製類	佃煮類	塩辛類	練製品類	缶詰類	海藻類	その他
9	41	6	3	8	2	4	5	3	2	4	0	21	30	16	7	12	5	8	11	7	2	12	1

水産物を取り扱う上で障害となるもの								水産物取扱を望まない理由						県産水産物に対する興味		県産水産物直売の可能性について					
出荷者とのコンタクト	冷蔵機材	既存出品者との調整	周辺との調整	仕入れが困難	調理上	その他の理由	障害はない	消費者ニーズ	冷蔵機材	農産物限定	仕入れ困難	規定など	その他の理由	興味あり	興味なし	不可能	機材があれば可能	増設、新規で可能	イベント的なら可能	常設で可能	
6	16	2	2	10	8	8	4	2	10	12	7	1	10	61	18	17	15	18	25	8	

表1 アンケート集計結果

直売所の経営・運営をされている方へ 県内産水産物の取り扱いアンケート

福岡県では、「生産者による水産物直売活動」の研究・県内産水産物と直売所とのマッチングを検討するため、アンケート調査を行います。お忙しいところ、お手数おかけしますが、下記のアンケート調査にご記入のうえ、同封の返信用封筒にて6月30日（水）までにご返送くださいますようお願いいたします。

問1 あなたの直売所の名前は何か？

【 _____ 】

問2 あなたの直売所の販売方式は何ですか？

① 委託販売 ② 買取販売 ③ その他【 _____ 】

問3 あなたの直売所では水産物を取り扱っていますか？

① はい ② いいえ → 問4へ

問3-a. どのような水産物を取り扱っていますか？（複数回答可）

① 鮮魚 ② 活魚 ③ 干物類 ④ 燻製類 ⑤ 佃煮類 ⑥ 練製品類 ⑦ 缶詰類 ⑧ 海藻類 ⑨ その他【 _____ 】

問3-b. 水産物はどのように仕入れていますか？（複数回答可）

① 県内の漁業者が出品 ② 県外の漁業者が出品 ③ 鮮魚商が出品 ④ 商店が出品 ⑤ 仲買人が出品 ⑥ 市場からの買入れ ⑦ その他【 _____ 】

問3-c. 水産物の売れ行きはどうですか？（主観でかまいません）

① 好評 ② 普通 ③ 今ひとつ

↓
問7へ

問4 現在、あなたの直売所で水産物を取り扱う計画がありますか？

① 計画がある ② 計画はない → 問5へ

問4-a. どのような水産物を取り扱う予定ですか？（複数回答可）

① 鮮魚 ② 活魚 ③ 干物類 ④ 燻製類 ⑤ 佃煮類 ⑥ 練製品類 ⑦ 缶詰類 ⑧ 海藻類 ⑨ その他【 _____ 】

↓
問7へ

問5 あなたの直売所で水産物を取り扱うことを望みますか？

① 望む ② 望まない → 問6へ

↓
問5-a 問5-bへ

問5-a. どのような水産物を取り扱いたいですか？（複数回答可）

① 鮮魚 ② 活魚 ③ 干物類 ④ 燻製類 ⑤ 佃煮類 ⑥ 練製品類 ⑦ 缶詰類 ⑧ 海藻類 ⑨ その他【 _____ 】

問5-b. 水産物を取り扱う上で障害となるのは何ですか？（複数回答可）

① 出荷者とのコンタクトの仕方がわからない
② 冷蔵庫等の設備の導入が困難
③ 既存出品者との調整が困難
④ 周辺の鮮魚店、直売所等との調整が困難
⑤ 仕入が困難
⑥ （三枚おろし等）調理する人がいない
⑦ その他の理由

⑧ 障害はない

↓
問7へ

問6 水産物の取り扱いを望まない方におたずねいたします。

問6-a. 水産物の取り扱いを望まない理由は何ですか？（複数回答可）

① 消費者ニーズがわからない・消費者ニーズがわからない
② 冷蔵庫等の設備がない
③ 農産物しか取り扱わない
④ 仕入が難しい
⑤ （補助金等により）取り扱えない決まりになっている
⑥ その他の理由

問7. 県内産水産物とのマッチングについて、おたずねします。

問7-a. 県内漁協、漁業者等が行う水産物直売について興味ありますか？

① 興味がある ② 興味がない

問7-b. 貴直売所で県内産水産物直売の可能性はありますか？

① 不可能（直売所の定款、既存業者との関係等）
② 機材を備えれば可能性あり（冷蔵ショーケース等）
③ 新規に場所（増設等）を作れば可能性あり
④ 駐車場等の一角を使ったイベント的な販売なら可能性有り
⑤ 常設で可能

ご協力ありがとうございました。